

2024年4月22日 第489号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動実行委員会「19日行動」に900人

米軍と自衛隊の指揮統制の枠組み強化反対！

平和のため、人権を守るため力をあわせよう！

総がかり行動実行委員会は4月19日夜、「裏金疑惑徹底追及！戦闘機輸出閣議決定撤回！取り戻そう！憲法を生かす政治4・19 国会議員会館前行動」を行い、900人が参加しました。日米首脳共同声明で、米軍と自衛隊の指揮統制の枠組み強化が表明されました。これは事実上、自衛隊が米軍の指揮下に組み込まれるというものです。「戦争する国づくり STOP!大軍拡・大増税 NO!改憲許さない!」と力をあわせ活動していくことがますます重要になっています。立憲民主党の古賀千景参議院議員、日本共産党の山添拓参議院議員、社会民主党の大椿裕子参議院議員があいさつ。沖縄の風の伊波洋一参議院議員と韓国からのメッセージが紹介されました。

憲法共同センターから、自由法曹団幹事長の山口真美弁護士が主催者あいさつ。経済安保版の秘密保護法について、「ミサイルや戦闘機の共同開発など軍事産業の育成を狙った国内法の整備だ。衆議院で可決されたが、なぜそんなに急いだか。それは、アメリカ訪問の手土産にしたかったからだ」と指摘。「なりふり構わぬ死の商人として武器を輸出すること、ミサイルや戦闘機の開発は、憲法9条に違反する。平和のため、人権を守るため、国民の怒りの声を国会に届けよう」と呼びかけました。



ふえみん婦人民主クラブ大東愛子さんは、日本の武器輸出禁止に穴が明けられてきた実態などについて話し、「死の商人国家どころか大国をめざしているのではないか。『武器輸出するな』と、声をあげ続けていこう」と訴えました。

フェミブリッジかながわの岸牧子さんは、「神奈川でフェミブリッジを立ち上げ、3月9日に桜木町駅頭で宣伝を行い200人が参加した。フェミブリッジの宣伝には立憲野党の議員が全員揃う。市民連合の継続した運動が重要だ。共闘の力で女性など弱い人たち声が届く政治を実現しよう。力を合わせて一緒に立ち上がろう」と呼びかけました。

江東市民連合の木庭みち子さんは、衆議院東京15区補選で、市民と野党の共闘でたたかう酒井なつみ候補(立民)勝利のため奮闘している状況などについて紹介。「投票日まであと1週間余り。全国・全都から支援にきてほしい」と訴えました。

戦争をさせない1000人委員会の田中直樹さんが行動提起を行いました。